

【機密性 1】

2022 年 11 月 11 日

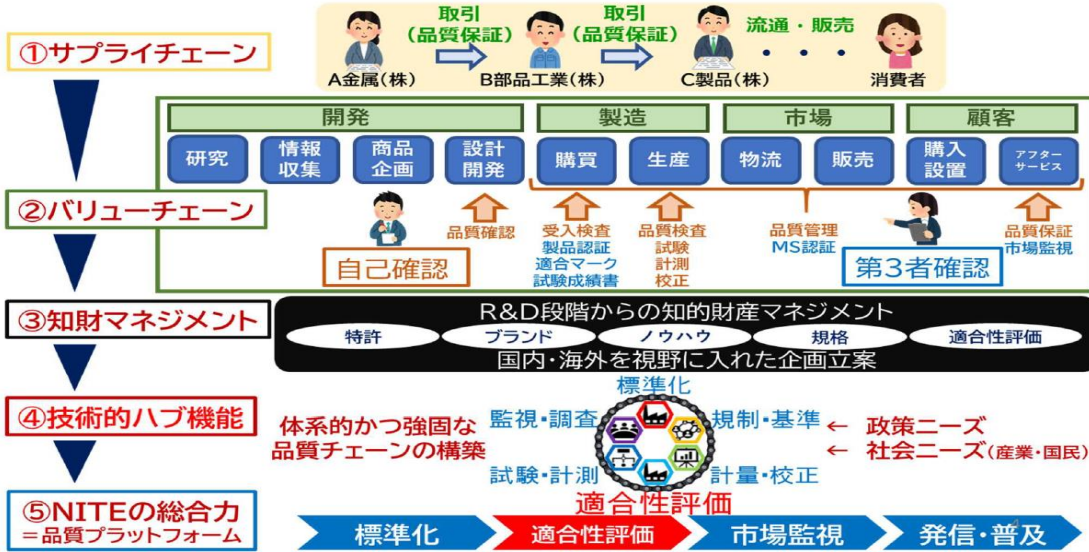
NITE 認定センター (IAJapan)

NITE 版ブルーブックについて

2020 年 12 月から 2021 年 3 月まで、国内外の適合性評価制度の現状と動向を調査分析し、安心・安全な製品・サービスの流通・提供に資する「品質チェーン^{※1}」構築をより一層強固なものとするために必要な適合性評価制度のあり方や最適化についての方向性を取りまとめるとともに、NITE の次代のロードマップとアクションプラン策定を目的とする適合性評価制度研究会（経済産業省、有識者で構成）を設置し、検討してまいりました。

本年度は、研究会で検討結果を踏まえ、**NITE 版ブルーブック**のとりまとめを開始いたしましたので、状況を報告いたします。

※1 社会経済活動の機能的な技術インフラとしての認定・認証といった適合性評価制度のより安定的な構築に向け、品質を支える規格・計量・校正・試験・認定・認証・検査・監査などを品質チェーンとして体系的に捉えて整理。



1. NITE 版品質チェーン提言タスクフォースの設置

2022 年 4 月より、所長、次長、計画課長及び職員（9 名）で構成する NITE 版品質チェーン提言タスクフォースを IAJapan 内に設置。

① 昨年度までの適合性評価制度の現状と動向に関する調査分析結果等を踏まえ、日本の適合性評価制度の現状と今後のあり方を**NITE版ブルーブック**としてとりまとめる。

② 必要に応じて過年度の調査結果のフォローアップを行い、政策提言を行う。

2. 江藤寺子屋の開催（月1回）

2022年5月より、国立大学法人一橋大学イノベーション研究センター江藤教授のご指導のもと「NITE版ブルーブック」及び「政策提言」の検討を行うため、上記TFメンバーが参加する**江藤寺子屋**を開催。寺子屋を通じてIAJapan職員の人材育成も行う。

3. 現在の検討状況

江藤教授にご指導頂きつつ、過年度の研究会の検討結果、及びIAJapanが業務を通じて培ってきた知見をNITE版ブルーブックとして文書にまとめている。現在、概ね文書の構成や内容が決まってきている段階。今後は、文書を精査し、外部公開できるように作業を進める予定。また、NITE版ブルーブック内で提唱する「日本の適合性評価のあるべき姿」の実現に向けた政策提言を合わせて検討する予定。

NITE版ブルーブックの概要

文書タイトル：NITE版ブルーブック

作成目的：日本の適合性評価制度の現状と今後のあり方について取りまとめ、規制当局、適合性評価機関、ユーザなどに広く啓発する。また、政策提言の補完文書として活用する。

目次（仮）約200頁：

はじめに

第1部 身近なところから適合性評価を理解する（導入）

第1章 適合性評価ってなんだろ
第2章 認定・認証の関係

第2部 適合性評価の歴史（過去、歴史）

第1章 制度の原型
第2章 WTO/TBT協定と適合性評価
第3章 EUにおける適合性評価の活用
第4章 国際機関の紹介

第3部 適合性評価の現在（現在の状況）

第1章 認証・自己適合宣言
第2章 グローバル認証機関とTIC産業
第3章 米独中の認証動向
第4章 認定の信頼性確保のための相互承認
第5章 国内及び海外の現状

第4部 適合性評価の未来に向けて（未来、まとめ）

第1章 日本の適合性評価あるべき姿

まとめ

別冊付録

別冊1 規格の概要とその意義
別冊2 実態アンケート調査分析
別冊3 米独中の公的活用事例
別冊4 我が国の取組み事例
別冊5 国内における適合性評価制度の導入状況
別冊6 世界の認定事業者数の比較

以上